

立山黒部ジオパーク 自然サイト一覧

No.	サイト名	所在地	特徴・概要	保護・保全						利用状況			公共交通	備考	
				土地所有者	管理状況	保全の担い手	その他の個別課題	文化財等	保護保全の根拠	所幹部所	研究	教育			観光
1	宮崎鹿島樹叢	朝日町宮崎	スダジイ、タブノキなどの照葉樹林構成種を主体とした林分で、富山県の平野から丘陵部の原植生を残していると考えられる。照葉樹林としては日本海側の北限に近く、学術的に貴重。	朝日町	○	朝日町		国天然記念物	文化財保護法・朝日県立自然公園		○	○	○	越中宮崎駅(あいの風とやま鉄道)直線距離1.1km	
2	雪倉岳(白馬連山高山植物帯)	朝日町山崎	後立山連峰、白馬岳の北方にあり、超塩基性の蛇紋岩地に特有の植物群落が見られる。	林野庁	○	環境省		文化財保護法	中部山岳国立公園特別保護地区		○	○			登山
3	白馬岳	朝日町山崎	朝日岳付近から白馬岳、鎌ヶ岳付近までの稜線に沿って分布する高山植物生育地。ウルップソウなど氷期からの遺存種や、雪倉岳周辺の蛇紋岩植生など重要な群落が含まれる。	林野庁	○	環境省		特別天然記念物	文化財保護法中部山岳国立公園特別保護地区		○	○			登山
4	樺平	黒部市宇奈月町黒部	峡谷の植生、県内唯一のツガ群落の分布。河岸段丘。	林野庁	○(国立公園)	環境省			中部山岳国立公園特別保護地区		○	○	○	樺平駅(黒部峡谷鉄道本線)	
5	荒俣海岸	黒部市荒俣	黒部川河口左岸に広がる砂浜。滑川市以東の臨海扇状地が連なる地域では海岸浸食がはげしくまた礫浜主体で、海浜植生が見られる砂浜は極めて少なく貴重。オカヒジキ、ハマニガナ、コウボウムギなどからなる海浜植生が見られる。	国土交通省	○(海岸)	村椿環境衛生組合			海岸法			○		生地駅(あいの風とやま鉄道)直線距離0.9km	
6	僧ヶ岳	魚津市・黒部市	比較的低い1855mの標高ながら、山頂の下に大規模な風衝草原と低木林が広がる。この風衝植生は、西に開いた谷に吹き込む冬の季節風が収束し積雪を吹き払い形成。山腹には石灰岩植生も見られる。	林野庁 民地	○(県立公園、国有林)	林野庁 富山県(魚津市、黒部市民間)			僧ヶ岳県立自然公園	埋没林博物館(魚津市の場合)	○	○	○		登山
7	洞杉	魚津市三ヶ	片貝川南又の谷底に直径数mに達する花崗岩の巨礫上にスギ巨木群が生育している。多雪地に適応した多分岐、根曲がり等の独特の樹形。	民地(森林組合外)	○	魚津市		市天然記念物	市文化財条例	教育委員会	○	○			
8	池尻の池	魚津市三ヶ	僧ヶ岳中腹の凹地に形成された池と湿原で、ミズバショウの大規模群落、モリアオガエルとクロサンショウウオの大規模繁殖地となっているほか、シラネアオイやメスジゲンゴロウなど絶滅危惧の動植物も見られる。	富山県地域森林計画 民有林	○	県(ただし、市に巡視管理委託)			池の尻自然環境保全地域	環境安全課					登山
9	富山湾の海底谷(あいがめ)、急深地形	魚津市沖	富山湾の東部は大陸棚が極めて狭く、沿岸から急に深くなり、また複数の海底谷が刻まれている。この地形により深海域の生物の生息場所が沿岸部までに及んでいる。		—				開発不可	環境安全課		○	○		
10	早月川河口	滑川市・魚津市	扇状地がほぼ海岸に達する黒部川・片貝川・早月川は、中流域の河川形態のまま海に注ぐ。アキグミ、ツルヨシ、オオバヤナギなど攪乱の多い中上流域を好む植物が河口域まで見られ、特に早月川河口部が顕著。	富山県	○	富山県			河川法					水族館前バス停(魚津市民バス)	
11	行田の沢清水	滑川市上小泉	早月川扇状地先端部旧河道沿い低地の湧水。周辺ではバイカモなど清水性の植物やセキショウなどの水生植物の生育がみられる。	滑川市	○	滑川市			都市公園法				○	中滑川駅(富山地方鉄道本線)直線距離0.8km / 滑川駅(あいの風とやま鉄道)0.9km / 行田公園口バス停	
12	ホタルイカ群遊海面	富山市水橋～魚津市沖	3～6月頃、ホタルイカが産卵のために大群で押し寄せる。ホタルイカは日本列島周辺に広く分布しているが、このような現象は富山湾独特のものであり、これは沿岸近くから急激に深くなる富山湾の海底地形によるものと考えられている。	富山県	○	富山県		特別天然記念物	文化財保護法		○		○		シーズン中は富山湾沿岸一帯で観察可能
13	岩室ノ滝	立山町虫谷	白岩川支流の虫谷川にある滝。丘陵部が深く侵食され風当たりが弱く、暖地の植物が生育する。	林野庁	○	富山県		富山県天然記念物		商工観光課	○		○		
14	大日平	立山町芦峠寺	弥陀ヶ原火山の溶岩台地上に形成された大規模な高層湿原。ガキの田と呼ばれる池塘群が見られ、ミヤマホタルイ、モウセンゴケ、ワタスケなどが群生する。ラムサール条約登録湿地。	林野庁	○	環境省 富山県			ラムサール条約登録湿地、中部山岳国立公園特別保護地区	環境省・富山県			○		
15	美女平	立山町芦峠寺	弥陀ヶ原火山の溶岩台地末端の標高1000m前後に位置し、ブナなどと混交したタテヤマシダの巨木林が広がる。スギは、古い株上で更新した“根上り”や、斜面部での雪圧による“根曲がり”など多様な生態を示す。	林野庁	○	環境省 富山県			中部山岳国立公園	環境省・富山県	○		○	美女平駅(立山黒部貫光鋼索線)直線距離1.0km	
16	鷲羽岳	富山市有峰	主に船津花崗岩類からなり、南東側にある鷲羽池は後期更新世の噴火により形成された火口である。	林野庁		環境省			中部山岳国立公園特別保護地区	林野庁(富山森林管理署)	○		○		登山
17	祖父岳	富山市有峰	祖父岳溶岩からなる溶岩台地のピーク。山頂からは鷲羽岳、水晶岳、薬師岳など2999m級の山々が望める。	林野庁		環境省			中部山岳国立公園特別保護地区	林野庁(富山森林管理署)	○		○		登山
18	雲ノ平	富山市有峰	更新世の雲ノ平礫層、溶岩、火山噴出物からなる台地。台地上には池塘群が広がる。ニッコウイワナの国内最高所の生息地。	林野庁		環境省			中部山岳国立公園特別保護地区	林野庁(富山森林管理署)	○		○		登山
19	高天原	富山市有峰	水晶岳の西側斜面の地滑りによって形成された閉鎖凹地。湿原が広がり、周辺ではかつてモリブデンが採掘された。	林野庁		環境省			中部山岳国立公園特別保護地区	林野庁(富山森林管理署)	○		○		登山
20	太郎兵衛平	富山市有峰	太郎山の北側にあり、手取層群からなる平らな地形。江戸時代の鉱山師、太郎兵衛にちなむとされている。登山道沿いに池塘が点在する。	林野庁		環境省			中部山岳国立公園特別保護地区	林野庁(富山森林管理署)	○		○		登山
21	五色ヶ原	富山市有峰	立山カルデラ南東部、鷲岳～鷲山の東側に広がる緩斜面で、立山連峰を代表する高山植物生育地。	林野庁		環境省			中部山岳国立公園特別保護地区	林野庁(富山森林管理署)	○		○		登山
22	有峰	富山市有峰	ブナ林の優れた景観と多様な動植物。日本海側気候の多雪地が多い富山県の山地にあって内陸的な要素を示す地域。かつて村があったが、大正8年にダム開発のため果有地となり、現在は湖が広がる。	林野庁		富山県			有峰県立自然公園	林野庁(富山森林管理署)	○		○	有峰記念館バス停	
23	白木峰	富山市八尾町切詰	山頂部は標高1400～1600mの隆起準平原で、風衝草原が広がっている。草原には池塘が点在し、トキソウ、サフラン、ヒメシヤクナゲなどの希少植物の生育が見られる。	林野庁		富山県			白木水無県立自然公園	林野庁(富山森林管理署)			○		登山

立山黒部ジオパーク 自然サイト一覧

No.	サイト名	所在地	特徴・概要	保護・保全					利用状況			公共交通	備考		
				土地所有者	管理状況	保全の担い手	その他の個別課題	文化財等	保護保全の根拠	所幹部所	研究			教育	観光
24	常願寺川河川敷のアキグミ林	富山市上滝	アキグミは植生遷移の初期に侵入する樹木で光要求が高く、土地が安定し遷移が進み他の樹木の陰になると枯れる。土砂供給量が多い暴れ川である常願寺川では、河川敷の攪乱が激しいため遷移初期段階のアキグミ林が維持され、中流域の広大な面積を占める。富山県東部の急流河川群を合わせ、立山黒部ジオパークエリアは国内最大規模のアキグミ生育地となっている。	国土交通省		国土交通省			河川法				岩峠寺駅(富山地方鉄道)		
25	浜黒崎海岸	富山市浜黒崎	常願寺川河口左岸に広がる海浜地。砂浜にはハマニガナ、コウボウムギ、ハマゴウなどからなる海浜植生が発達し、また3～4月にはホタルイカの身投げも観察される。						海岸法	林野庁(富山森林管理署)	○		水橋駅(あいの風とやま鉄道) 直線距離2.8km / 古志町バス停 / 浜黒崎小学校前バス停		
26	岩瀬浜	富山市 岩瀬古志町	神通川河口右岸に広がる当ジオパークエリア内では最大の砂浜。砂浜にはハマニガナ、コウボウムギ、ハマゴウなどからなる海浜植生が発達し、また3～4月にはホタルイカの身投げも観察される。						海岸法	林野庁(富山森林管理署) 環境安全課		○	○	岩瀬浜駅(富山ライトレール ポートラム)直線距離0.6km / 岩瀬浜バス停	